

111 アオゲラ

(キツツキ目)

兵庫県ランク:C

Picus awokera

繁殖個体群:C 越冬個体群:- 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本固有種。亜種アオゲラが本州、亜種カゴシマアオゲラが四国・九州、タネアオゲラが屋久島・種子島にそれぞれ留鳥として分布する。兵庫県では周年見られる。平地から山地のよく茂った広葉樹林に生息し、太い木の幹に穴を掘って営巣する。昆虫類やクモ類などを捕食する。特に朽木内の幼虫を好み、特有の舌で木の中から引っ張り出して食べる。



写真提供: 松重和太

国内分布

本州、飛鳥、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、屋久島、種子島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、(芦屋市)、(伊丹市)、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、川西市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、(淡路市)、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、(多可町)、(市川町)、神河町、(上郡町)、佐用町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
淡路島以外の県内各地に生息する。森林性の鳥であるが、冬には市街地の公園にも飛来することがある。個体数はもともと多くない。森林の害虫駆除に一役かっており、森林環境の指標種としても有効である。



写真提供:三谷康則

保護上の留意点

山地の森林に広く生息するが、繁殖が巨木のある自然環境の残る森林環境に限定されるため、そのような森林環境の保全が重要。



写真提供:但馬野鳥の会